

ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H30. 3. 22

卒業・修了おめでとございます。

校長 楯 明夫

平成 29 年度が終わろうとしています。

卒業生のみなさん、卒業を心より祝福します。

「ありがとう、あなたたちに出会えて良かった。」そんな気持ちでいっぱいです。

そして、在校生のみなさんの修了を祝福します。

80人の卒業生、いよいよ中学生です。322人の在校生、それぞれが無事教育課程を修了して進級します。5年生はいよいよ最上級生、共栄小学校をさらにレベルアップしてくれるに違いありません。小学校6年間の成長は著しいものです。身体的には倍以上になる子もいます。心もうんと大きく成長します。何もかもを親に頼っていた子が、何か言えば、生意気な一言を返してくるようにもなってきます。家と学校で見せる顔も違ってきます。礼儀を本当に身に付けているだろうかと疑いたくなるわが子が、外へ出ると意外に礼儀正しく生きているなんてこともあります。毎日接していると気が付かないものですが、ふと気が付くと心も身体も大きく成長しているのがわが子なのかもしれません。

「ありがとう」がとびかう学校に、そんな願いを込めて1年間取り組んで参りました。子どもたちの姿でこの1年を振り返ってみると、子どもたちの活動の中身に大きな成長を感じています。それは、委員会活動などにみられる自分たちの手で学校をよくしたいという動きによく表れていたと感じています。また、卒業式の練習に向かう4、5年生の姿からも、一生懸命厳粛な卒業式を作り上げようと練習していました。そんな子どもたちの姿から確信することがあります。それは、子どもたちが

「安心して、ねうちのある活動を創り上げようとしている」ということです。成長には、様々な現れ方があります。場合によっては、反社会的、非社会的な行動でしか成長を示すことができない子もいます。しかし、仲間と共に願いをもち、価値のある取組に多くの子どもたちが向かい、共に活動する喜びを得ることができれば、エネルギーの使い方を間違えることなく生活できるのではないのでしょうか。そして、互いに認め合える場が増え、感謝の言葉が飛びかうように大人も一緒になって見守っていくことが学校の素晴らしさであるとあらためて思います。

子どもたちに3つのことを伝えたいと思っています。「この1年、良い姿をたくさん見せてくれて嬉しかったこと」「もっと素敵な学校になる大きな可能性を感じていること」「さらにレベルアップを目指して多くのことを学び、どんな人になりたいか追求し続けて欲しいこと」です。

もっと「なかよく」もっと「かしく」もっと「たくましく」そして、たくさんの「ありがとう」が飛びかうように共に頑張っていきたいと思っています。

